

「宇宿小学校の宇宿稲すり踊り伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立宇宿小学校

2 学年・人数

1年生（8人） 2年生（5人） 3年生（6人） 4年生（7人）
5年生（4人） 6年生（8人）

計38人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年4月～11月 朝の活動，創意，総合的な学習の時間
本校屋内運動場・屋外運動場，多目的ホール

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月2日（日） 秋季大運動会（本校運動場）
令和4年11月9日（水） 奄美市小・中学校音楽発表会（奄美文化センター）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

宇宿稲すり踊り（うしゅくいねすりおどり）

(2) 由来

明治時代から校区で踊られていた伝統芸能で，戦後，「宇宿稲すり踊り保存会」の方々が継承・保存に取り組んできた。現在は，奄美市指定無形民族文化財，また奄美市認定一集落ブランド（宇宿集落）にもなっている。

本校では，平成5年から「宇宿稲すり踊り」に取り組んできた。「宇宿稲すり踊り保存会」の方々に協力をいただきながら，子供たちだけでの発表向けにアレンジをした踊りの練習を続けてきている。

(3) 構成等

「宇宿稲すり踊り」は，島唄である「稲すり節」，三味線や太鼓・指笛等の鳴り物，踊りの3つのグループで構成されている。島唄や鳴り物の軽快なリズムに合わせて踊る。「宇宿稲すり踊り」には，人々の豊作や健康，幸せへの願いが込められている。

5 保存会や地域との連携の具体

「宇宿稲すり踊り」の練習期間中に，「宇宿稲すり踊り保存会」の方を招いて，島唄・鳴り物・踊りの様子を見ていただき，全体で注意しなければならない点を聞いたり，個別指導をしていただいたりしている。さらに本年度から卒業生である保護者や地域の方々に「宇宿っ子稲すり踊り守り隊」を結成し，子供たちの踊りや隊形移動の仕方を指導していただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

例年は、子供たちに、様々な発表の場を設定したり、「宇宿稲すり踊り保存会」の方々に「宇宿稲すり踊り」を伝承している思いなどを語ってもらったりしていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、そのような場を十分設定することが難しかった。そこで、屋内での全体練習を取りやめたり、全体練習の回数を減らしてパート練習を中心に行ったりして3密を避けて練習を行った。また、保存会の方や稲すり踊り守り隊の保護者の方に指導を手伝っていただき、子供たちの意欲を高めたり、島唄や三味線、踊り等の上達へつなげたりした。このようにすることで、子供たちの「宇宿稲すり踊り」を踊ることに対する達成感や自己有用感をもたせることができた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【地域の方からの三味線の指導】



【「宇宿っ子稲すり踊り守り隊」の方の指導】



【秋季大運動会での発表】



【市音楽発表会での発表】

8 参加児童・教職員等の感想・意見

- コロナ禍でも、子供が「宇宿稲すり踊りを通して、宇宿（郷土）のことを誇りに思っていてほしい。」という思いで、工夫しながら練習をした。 (教職員)
- 卒業生として、そして親として子供たちに指導ができて嬉しかった。伝統継承をして「宇宿稲すり踊り」を守っていきたい。 (宇宿っ子稲すり踊り守り隊)
- みんなといっしょに踊れて楽しかった。 (1年)
- お父さん、お母さんに教えてもらって、嬉しかった。 (2年)
- 保護者の方に教えてもらって楽しくできた。 (3年)
- 本番では緊張したけど、何度も練習したので本番で上手にできた。 (4年)
- パートリーダーとして、みんなをしっかりと引っ張ることができた。来年は6年生として、全体を引っ張っていきたい。 (5年)
- 運動会や市音楽発表会で最高の発表ができたので、最高学年の責任を果たせたと思う。これからもしっかりと稲すり踊りを引き継いでいってほしい。 (6年)